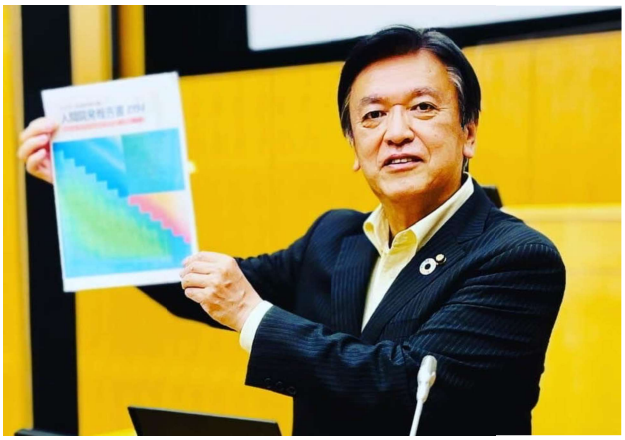
公明党議員団政務調査報告書第91号 令和4年第2回定例会報告 令和4年 夏 号

大串ひろやす通信

「調査なくして発言無し」とは
公明党の伝統です！調査をもとに質問し提案した内容を
「通信」として区民の皆様にご報告しています。ご意見、ご感想をお待ちしています！

ページ	コーナー	内　容
1	トップページ	核抑止に代わる安全保障のあり方を！
1~3	本会議質問	①核兵器のない世界を実現へ ②9価HPVワクチン接種に区独自の補助を！
4	報　告	広島への平和使節団に議員として参加させていただきます！
4	ちょっと教えて	神田警察通り二期工事について！
2~3	参　考	①少女の心 ②国連開発計画が1994年に発表した「人間開発報告書」

核抑止に代わる安全保障のあり方を

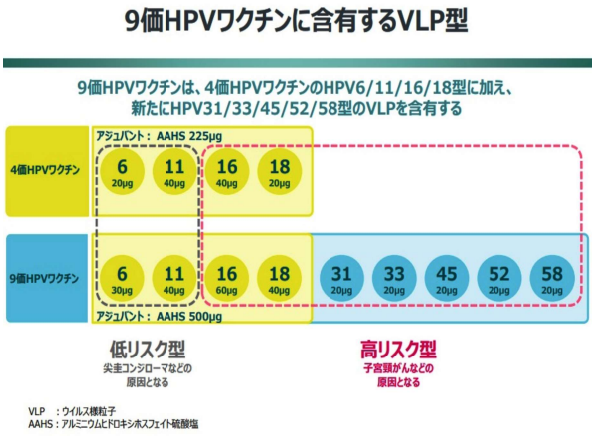


6月30日 第2回定例会 公明党議員団代表質問
「人間開発報告書1994」を掲げて

問 核兵器のない世界の実現へ向けて、来年のG７が広島での開催となったことは大きな意義を持つ。被爆の実相（人間的悲惨さ）をG７各国の首相が直接見ることができるからだ。もう一点必要なことがある。核兵器による安全保障からの脱却だ。そのためには世界の全ての国が同意できる新たな安全保障の仕組みが必要となる。この点、国連開発計画が1994年に発表した「人間開発報告書」に注目したい。人間の生存、生活、尊厳をあらゆる脅威から守るという人間の安全保障を提案し、核の安全保障からの転換を訴えている。（コラム２）大賛成だ！日本は国連においてこの人間の安全保障を積極的に推進してきた。そこで、国際平和都市宣言を行った区として、区長に核兵器のない世界の実現に向けての決意と今後の取り組みを問う。

答 宣言の重みを実感し恒久平和を実現するため積極的に行動していく。また「人間の安全保障」の下、国際社会、人類同士の連帯に向けて行動していく。区の多文化共生の理念と重なるものである。

9価HPVワクチン接種へ区独自の補助制度を設けよ



「9価HPVワクチンの概要 MSD株式会社」より

参考1

少女の心

広島平和記念資料館の資料から。一枚目は資料館本館入口正面にある少女の写真だ。右腕に包帯を巻き来館者をじっと見つめ、その眼差しは私たちに何かを訴えているかのようだ。本館に入ると被爆直後の写真がある。何かを腕に抱えた女性の写真だ。説明では「彼女が抱えている赤ん坊は黒焦げだったそうです。その赤ん坊に向かって『目を開けて、目を開けて』と名前を呼びながら半狂乱で叫び続けていた」と。もう一枚は黒焦げの弁当箱。中学生一年生の遺品である。「発見した母親が、寄贈したメモに、次のように書き残している。

8月6日　朝7時
米、麦、大豆の三種混合飯に
ジャガ芋千伐りの油いため
こんな粗末な弁当を　あ、うれし　と
よろこんで持って出て　よう食べずに
腹の下に抱きかかえたまま死んでいました
ああ無残
頭、顔の骨で見つけ出しました
母　シゲコ　付記」と。

核の恐ろしさ、悲惨さがこれだけでもよくわかる。「被爆の実相」だ。世界の人々がこの恐ろしさや人間的悲惨さを直接見て、核は決して使ってはならないものであるという思いを共有してもらいたい。先の入口の少女の眼差しはそのことを私たちに訴えているのではないあろうか。少女の心だ！

9価HPVワクチン接種に区独自の補助を！

問 この4月から子宮頸がんワクチン接種についての積極的勧奨が再開され、勧奨が控えられていたこれまでの9年間に接種を逃した方への接種、キャッチアップ接種も始まった。子宮頸がんはヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を原因とするがんであり、約100種類あるHPVの内、発がんに関係するウイルスは15種類である。日本では年間約1万人の女性が罹患し約2900名の方が亡くなっている。ワクチンは定期接種となっている2価と４価そして任意接種である９価の３種類がある。9価ワクチンは9つの遺伝子型に対応し(左図)約90%の予防効果があるとされる。任意接種なので費用は全額自己負担であり経済的な理由から接種したくてもできない場合もある。そこで、9価ワクチン接種について定期接種の一環としてまた予防接種の機会の公平性の観点から区独自に補助制度を設けることを提案する。

答 〈保健所長答弁・抜粋〉
９価ワクチンは令和２年７月に使用承認されたが定期接種とはなっておらず健康被害が生じた場合には予防接種法に基づく予防接種健康被害救済制度の対象とはならない。国の動向を注視し議論の進捗に対しては速やかに対応していく。

区は事務執行を法令等を遵守し適正に行え

1.区長は、法令等遵守についてどう考えるのか

問 平成29年の自治法改正により150条に「管理及び執行が法令に適合し、かつ適正に行われていることを確保するため」とした内部統制に関する規定が新たに追加された。その内部統制の目的は、①業務の効率的かつ効果的な遂行、②財務報告書等の信頼性の確保、③業務に関わる法令等の遵守、④資産の保全とされている。特に3番目の法令等の遵守である。「法令等の遵守とは、業務に関わる法令その他の規範を遵守することをいう（中略）公務員に対しては、住民の信頼の基礎となる法令等の遵守についての要請が特に高い」とまで書かれた。そして、今回の法改正は行政の事務執行に対する住民の監視機能の強化にある。そこで、区長に法令等の遵守についての考えを問う。

答 〈政策経営部長答弁〉
法令等の遵守につきましては地方公共団体として業務を遂行する上で基本となる重要なものであると考えている。

2.神田警察通り二期工事では法令等は遵守されたのか

問 神田警察通りの道路整備について「神田警察通り沿道まちづくり構想」を作成しそれをもとに将来像としてのまちづくり方針まで定めてる。単なる道路整備ではなく道路整備を含むまちづくりの計画である。当然関係する法令とは都市計画法となる。法には計画は合理的であること、また住民合意のための適正な手続きも必須とされた。その手続に関係する内部規範とは区が定めた「付属機関の会議等の公開に関する基準」や「意見公募の要綱」そして「参画・協働のガイドライン」などであるが、当該工事の議案が議決されるまでこれらの規範に基づく行為は一切行われることはなかった。「住民の信頼の基礎となる」とまで表現された法令等の遵守が守られていなかった。（法150条違反）そこで、神田警察通りに関する法令等の遵守について区長の認識を問う。

答 〈政策経営部長答弁・抜粋〉
神田警察通りの道路整備に関しましては、適法な手続を経て進めてきたものと認識している。（再質問に対する答弁）この間、議会の中でも様々な御議論をいただいてきたことは承知している。それらを含めて現段階では適法な手続を進めてきたものというふうに認識している。

ちょっと教えて 報告

神田警察通りの二期工事 イチョウを残して整備を

神田警察通り二期工事においてイチョウの街路樹を残しながらの道路整備を求めて沿道住民は話合いの継続を求めたが区は話合いを打ち切った。住民は契約は違法であるとして監査請求を提出。

【監査請求での主張】

1) 樹冠が立派で健康なイチョウの街路樹を伐採する合理的な理由がないこと。
2) 区の規範である、①参画協働のガイドラインに基づく説明会の開催、②基準として定めた協議会の議事録公開、③要綱で定めた意見公募の実施など住民合意のための手続きをすべて省略したことは法令等の遵守義務違反である。
3) 工事の議案説明の際、住民へは周知されていると虚偽の説明をした、など。

よって、合理性がなくまた手続きを欠いた契約は違法または不当である。

【監査委員は請求を棄却】

警察通り沿道協議会において議論を20回以上重ねてきたこと。また区議会委員会でも報告している。仮に一部事実に反する説明があっても質疑を通して議決したのだから有効である。よって契約は違法・不当とはいえない。

【私は】この結果に納得できない。違法不当はないとしたが区の裁量権行使が適切で妥当であるとの説明はなかったからだ。

平和使節団に議員として同行させていただきます

区は、平成7年3月に行った「国際平和都市千代田区宣言」に基づき、先の大戦の激戦地「沖縄」、特攻の出撃地「鹿児島」、人類史上初めて原子爆弾の被害を受けた「広島」「長崎」へそれぞれ平和使節団を派遣している。核兵器のない世界の実現へ来年のＧ７開催地が広島と決まったことは大きな意義がある。この度、議員としての広島への同行派遣させていただくことになった。各国首相が直接見て感ずるであろう「少女の心」(コラム１)を私もしっかり受け止めて帰ってきたい。

参考2

人間の安全保障とは

核兵器による安全保障に代わる新たな安全保障の仕組みが今ほど求められている時はない。核を保有している国も、持たない国もまた核の傘のもとにある国もすべての国が同意でき共有できる新たな安全保障の仕組みだ。私はそれは国連開発計画が1994年に発表したした人間開発報告書で示された「人間の安全保障」であると断言したい。「人間の安全保障という新しい考え方」が必要であるとしてこのように記されている。「私達は、あらためて考え方を根底から変える必要に迫られている。核の安全保障から『人間の安全保障』へと頭をきりかえなくてはならない。(中略)人間の安全保障は武器への関心を向けることではなくて人間の生活や尊厳にかかわることである。人間の安全保障という考え方は単純ではあるが、21世紀の社会に大変革をもたらすカギとなるのではないか」(報告書P. 22)と。私も大賛成だ。国連において日本が最も積極的に推進している考え方なのだ。

編集後記 人間の安全保障とは、広範かつ深刻なあらゆる脅威から人間の生存・生活・尊厳にを守るという考え方だ。そしてこの考え方は世界の全ての国が同意できる。よって、この考え方をベースとして新たな安全保障の仕組みとしてはどうだろうか。核兵器による人間の安全保障から人間の安全保障への転換だ！

大串ひろやす

質問の録画